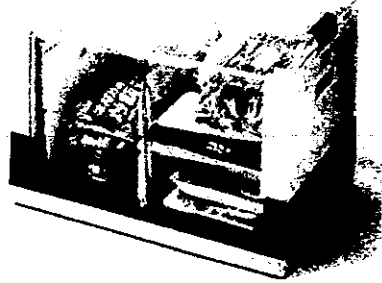


3温度帯商品一緒に

ワゴン

【和歌山】ワゴン（和歌山県紀の川市、西田耕平社長、0736・77・2203）は、同じ容器の中に冷凍、チルド、ドライと温度帯の異なる3種類の商品と一緒に積める「3温度帯ボックス」を開発した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で需要が増えているネットスーパー向けに6月から販売を始める。消費税抜きの価格は1台1万7000円。初年度1万台の販売を見込む。

ネットスーパー向けボックス



さまざまな商品を扱
場合が多く、女性運
ネットスーパーは配
手が多い現状を踏ま
送の際、商品を3種
ボックス一つひとつ
の温度帯に仕分けの
軽量化が望まれてい
要がある。配送では軽
パンなどで常温で運ぶ

「3温度帯ボックス」は重さ約6・5kg、幅460mm×奥行296mm×高さ275mm（内寸）、約35%分の商品が積める空間

内を冷凍、チルド、ドライと温度帯の異なる3空間に分けられる。要冷凍の商品は幅を調節できる「可変シツパー」に包み、チルドとドライの空間は間仕切りで分ける。保冷剤も併せて使用する。容器はポリエチレン製で中に断熱材（ウレタン）を注入している。このボックスを使い、冷凍（約18度C以下）の空間の温度を7時間、チルド（0度C以上5度C以下）、ドライ（5度C以上15度C以下）の空間の温度をそれぞれ5時間保てることを実験で確かめた。冷凍については15度C以下の設定なら10時間、20度C以下なら5時間保てることも分かった。

良目の「ネットスーパー」降参

に備え、新型コロナウイルス専門病院を設置する考などへの支援策を行

型一
者
施
し、

成

高熱

（石

政隆

81

キシ

した